

第3学年 算数科

教科目標

- ① 加法及び減法を適切に用いることができるようにするとともに、乗法にについての理解を深め、適切に用いることができるようにします。また、除法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにします。さらに、小数及び分数の意味や表し方について理解できるようにします。
- ② 長さ、重さ及び時間の単位の測定について理解できるようにします。
- ③ 図形を構成する要素に着目して、二等辺三角形や正三角形などの図形について理解できるようにします。
- ④ 数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることができるようにします。

学習計画

月	単元・題材名	時間	学習活動
4	○ 九九を見なおそう	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗数が1ずつ増減するときの乗数と積の変化の関係や乗法の交換法則の理解を深める。 ・ 被乗数や乗数を分解しても積は変わらないという乗法の性質を理解する。 ・ $a \times \square = b$ $\square \times a = b$ の \square にあてはまる数を、九九を用いて求める。 ・ 被乗数や乗数が10のときの答えを、乗法に関して成り立つ性質やきまりを用いて求める。 ・ 被乗数や乗数が10をこえる場合でも乗法に関して成り立つ性質やきまりを用いて求める。 ・ 被乗数や乗数が0の場合の乗法計算をする。
	○ 時こくと時間の計算のしかたを考えよう	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ ある時刻から一定時間前や後の時刻を求めることができる。 ・ 2つの時刻の間の時間や時間と時間の和を求めることができる。 ・ 時間を表す単位「秒」について知り、分と秒の単位関係を理解する。
5	○ 新しい計算を考えよう	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除法に関する用語、記号を知り、等分除の意味について理解する。 ・ 等分除の答えの見つけ方を理解する。 ・ 包含除の場面もわり算の式に表されることや、包含除の意味について理解する。 ・ 等分除と包含除は「わり算」として統合できることを理解し、除法計算の答えを求める。 ・ 被除数が10の場合や被除数と除数が同じ数値の場合にも除数が用いられることを理解する。
	○ まるい形を調べよう	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ ある数が基にする大きさの何倍かを求める場合にも除法が用いられることを理解する。 ・ 中心・半径の用語を知り、円の意味や性質について理解する。 ・ 直径の意味や直径と半径の関係を理解する。 ・ コンパスには等しい長さを測り取る機能があることを理解し、それを使って円をかく。 ・ 球について理解する。
6	○ 大きい数の計算を考えよう	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3位数+3位数及び3位数-3位数の筆算の仕方を理解し、計算をすることができる。 ・ 1000-3位数の計算の仕方を理解し、計算をすることができる。 ・ 4位数を含む加減計算の仕方を理解し計算する。
	○ 計算のしかたをくふうしよう	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2位数どうしの加法や減法の暗算の仕方を理解し計算する。
7	○ 考える力をのばそう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2つの量の重なる部分に着目して解く問題を解決する。
	○ わり算を考えよう	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除数と商が1位数の除数で、割り切れない場合の計算の仕方を理解する。 ・ 余りと除数の関係を理解する。 ・ 等分除についてもわり切れない場合の除法が適用できることを理解する。 ・ わり切れない場合の除法計算について、答えの確かめ方を理解する。 ・ わり切れない場合を含む除法の計算練習をする。 ・ 余りのとらえ方について理解を深める。
9	○ 10000より大きい数を調べよう	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一万の位までの数の読み方、書き方、構成について理解する。 ・ 十万、百万、千万の数の仕組みと千万の位までの読み方、書き方、構成について理解する。 ・ 数の相対的な大きさについて理解を深める。 ・ 一万より大きい数の大小、順序についての理解を深め、1億を知る。 ・ 用語「等号」「不等号」を知り、数や式の相当関係や、大小関係の表し方を理解する。 ・ 数の構成を多面的にとらえ、数の見方を豊かにする。 ・ 整数を10倍、100倍した数$y10$でわった数の表し方を理解する。
	○ かたちであそぼう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本図形を組み合わせているいろいろな形を作る活動を通して、図形に親しむ。
10	○ かけ算のしかたを考えよう	15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何十、何百に1位数を「かける乗法計算の仕方について理解し、計算をする。 ・ 2位数×1位数(部分積がみな1桁)の筆算の仕方について理解し、計算をする。 ・ 2位数×1位数(十の位の数との部分積が2桁、及び部分積がみな2桁)の筆算の仕方について理解し計算をする。
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 2位数×1位数(部分積を加えた時に百の位に繰り上がりあり)の筆算の仕方について理解し計算をする。

11	○ どんな計算になるのかな？	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3位×1位数(部分積がみな1桁)の筆算の仕方について理解し、計算をする。 ・ 3位数×1位数(一、十の位の数との部分積が2桁)の筆算の仕方について理解し計算をする。 ・ 3位数×1位数(部分積がみな2桁、及び部分積を加えた時に繰り上がりあり)の筆算の仕方を理解し計算をする。 ・ 3つの数の乗法が1つの式に表せることを知り、乗法の結合法則について理解する。 ・ ある量の何倍かにあたる数を求めるときに、かけ算を用いることを理解する。 ・ 加減乗除法を適用して問題を解決し演算を決定する能力をのばす。
	○ 大きい数のわり算を考えよう	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 90÷3などの計算の仕方を理解し計算をする。
	○ 長さをはかろう	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻き尺の便利さや使い方を理解し、測定することができる。 ・ 道のりや距離の意味を知り、長さを表す単位「キロメートル(km)」について理解する。 ・ 整数で表せない端数部分の大きさを表すのに小数が用いられることを理解する。 ・ 長さの場合にも小数を用いて表すことができ、小数を用いると単名数で表すことができることを理解する。
	○ はしたの大きさの表し方を考えよう	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用語「小数第一位」を知り、数直線に表された小数を読んだり、数直線に表したりする。 ・ 小数の大小関係について理解する。 ・ 小数第一位どうしの小数の加法と減法の計算の仕方を理解し計算をする。 ・ 小数についてもいろいろな表し方や見方ができることを理解する。
	○ 三角形のなかまを調べよう	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 辺の長さに着目して三角形を弁別し、正三角形や二等辺三角形の意味を理解する。 ・ 二等辺三角形や正三角形の作図の仕方を理解し、作図する。 ・ 円の性質を用いて二等辺三角形や正三角形が作図できることを理解し、作図する。 ・ 形としての角の意味を理解し、角の相等や大小を調べる。 ・ 二等辺三角形や正三角形の性質を理解する。
	○ 分けた大きさの表し方を考えよう	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分数の大きさは、単位分数の何こ分で表すことを理解する。 ・ 「分数」「分子」「分母」の用語の意味を知り、液量についても、端数部分の大きさを分数で表せることを理解する。 ・ 数直線に表された分数を読み取り、分数の大きさの表し方や大小について理解する。 ・ 分母が10の分数と1/10の位までの小数の関係について理解する。 ・ 分数の加法・減法の計算の仕方について理解し、計算をする。
	○ □を使った式に表そう	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ □を用いた式を読み取り、具体的な場面に表す。
	○ 考える力をのばそう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図や□を使って解決する。
	○ かけ算の筆算を考えよう	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1位数×何十n計算の仕方を理解し計算する。 ・ 2位数×何十n計算の仕方を理解し計算する。 ・ 2位数×2位数(繰り上がりなし・繰り上がりあり)の計算の仕方を理解し計算する。 ・ 2位数×2位数(乗数の末尾に0がある)の簡便な計算の仕方を理解して計算する。 ・ 簡単な場合の2位数×1位数の暗算の仕方を理解し計算する。
	○ 見やすく整理して表そう	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を分類整理する方法や整理結果を表にまとめる方法を理解する。 ・ 棒グラフの読み方やかき方を理解する。 ・ 目盛りの異なる3つの棒グラフを見比べて、棒グラフについての見方や考え方を広げる。 ・ 一次元表を組み合わせた簡潔な二次元表を読む。
	○ かたちであそぼう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ いくつかの図形を組み合わせて正方形や長方形を作る活動を通して、図形に親しむ。
12	○ 重さをはかろう	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重さについて、単位の必要性を認め、重さを表す単位「グラム(g)」を知る。 ・ 重さを測定する計器としてはかりがあることを知り、目盛りの読み方を理解する。 ・ 重さを表す単位「キログラム(kg)」、1kg=1000gの関係を理解する。 ・ 重さの量感を身につけ、はかりを用いて重さを正しく測定する。 ・ 正味、風袋、全体の重さの関係を知り、重さの加法生や測定の方の工夫を理解する。
	○ 考える力をのばそう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直線や円周上に等間隔に配置されたものの数と間の数との関係に着目して問題を解決をする。
	○ そろばんで計算しよう	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ そろばんの各部分の名称を知り、そろばんにおかれた数の読み方や数の入れ方、払い方を理解し、加減の基礎的な計算をする。
	○ 3年のふくしゅう	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既習学習の理解を確認する。
授業時数の合計 175時間			

算数科の評価

観 点	評 価 基 準	評 価 方 法
算数への関心・意欲・態度	数理的な事象に関心をもつとともに、知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとしているかどうかという観点から見ます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習態度 ・ 発表 ・ 発表内容
数学的な考え方	数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について見通しをもち筋道立てて考え表現したり、そのことから考えを深めたりするなど、数学的な考え方の基礎を身に付けているかどうかという観点から見ます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 測定や操作的な活動の様子 ・ ノート ・ テスト
数量や図形についての技能	整数などの計算をしたり、長さや重さなどを測定したり、図形の構成要素に着目して構成したり、数量の関係などを表したり読み取ったりするなどの技能を身に付けているかどうかという観点から見ます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ プリント
数量や図形についての知識・理解	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数、小数及び分数の意味と表し方、計算の意味、長さや重さなどの単位と測定の意味、図形の意味及び数量の関係などについて理解しているかどうかという観点から見ます。	<p>などから総合的に評価します。</p>